

# 市長への手紙

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
事業見直しによる地域文化・経済への深刻な影響について	<p>市が発表した「123の事業見直しによる 7 億6,000万円確保」の報道について、新しい給食センター整備の財源確保の必要性は理解しつつも、その手法と見直し対象事業の中身に、看過できない問題があると感じています。</p> <p>懸念点 1：見直しの優先順位の誤りと、効率化優先がもたらす歪</p> <p>今回の見直し案は、かつての国の「事業仕分け」のパフォーマンスを想起させます。まず問われるべきは、事業の中止や補助金カットありきではなく、先に運営方法の組替えや効率化による改善を徹底的に検討することではないでしょうか。</p> <p>懸念点 2：地域経済、そして「盛岡の価値」そのものへの破壊行為</p> <p>「いわて盛岡シティマラソン」や「もりおか街なかイルミネーション」といった事業は、単なるイベントではありません。全国から人を呼び、地域経済を潤わせる重要な役割を担っています。</p> <p>このことから、「事業中止を決定する前に、運営方法の組替えによる継続の道を徹底的に模索すること。」「各事業の削減額と、その事業がもたらす地域経済への波及効果（機会費用）を、多角的な視点から詳細に比較検討し直すこと。」について、再検討してほしいと思います。給食センター整備と並行して、市民が長年愛し、街の活気の源となってきたイベントや歴史・文化・街なみを「なし崩し」にしない、真に持続可能な「盛岡の価値」を守る改革を望みます。</p>	<p>今回の事務事業見直しは、予算削減ありきで実施しているものではなく、1,000を超える各事業について、事業の対象である課題は市が解決しなくてはならないものか、目的に対して最適な手段をとっているか、次年度に必ず実施しなければならないものかといった観点から精査し、廃止・予算圧縮のほか、方法・対象の見直しや、類似事業との統合も含めて在り方を検討しているものです。</p> <p>全ての市民サービス、イベント等は、目的があって実施しているものですが、収支不足に陥り、財政調整基金の取崩しにより対応している厳しい財政状況の下では、現状のまま事務事業を維持することは、将来の市民に負担を先送りすることにもなりかねません。</p> <p>御指摘の「盛岡の価値」を守るためにも、一定の見直しが避けられないことは御理解いただきたく存じます。</p> <p>今後も、市民の皆様、関係団体等の皆様から御意見を伺いながら、事務事業見直しを含めた自治体経営改善の取組を進めてまいりますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。</p>	市長公室 自治体経営改善事務局
吹奏楽部の環境について	<p>市内の中学校の中には、吹奏楽部が活動で使用する楽器が古く、満足に使用できなかったり、壊れたりしているので、市の予算で楽器の修繕費用を負担してほしいです。</p> <p>また、練習中は音が出るため、活動できる時間が限られているので、朝や休日にも練習ができるように部屋を造るなどしてほしいです。</p>	<p>市立学校の楽器購入等については、毎年度、各学校からの要望を受けて、学校全体の優先度や緊急度を考慮しながら、楽器を含む教材や備品の購入を行っています。今後も学校の状況や要望を踏まえながら、楽器の更新を進めていきます。</p> <p>吹奏楽部の活動場所については、防音機能のある部屋には限りがあるため、各学校において練習の方法や時間を工夫しながら活動していると伺っています。防音設備の整備には多くの費用が掛かるため、対応することは難しい状況です。引き続き学校でできる工夫を重ねていただきたいと思います。</p> <p>朝や休日の練習については、「岩手県における学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針」が定められており、各学校ではこの方針に沿って活動を行っています。活動時間には制限がある場合もありますので、学校と相談しながら進めていただくことが大切です。</p> <p>教育委員会におきましては、学校からの要望等を受けて、必要な対応について検討していきます。今後も学校と連携しながら、皆さんの活動を支えていきたいと考えています。</p>	教育委員会 学校教育課

# 市長への手紙

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
財政難によるイベントの見直しについて	<p>市が、財政難のために、様々なイベントへの協力を取り消すことは、全てを否定はしませんが、市長が公約に挙げていた学校給食の無償化を実現するためにサービスを低下させるのであれば納得がいきません。</p> <p>学校給食の無償化は、非課税世帯を無償化にするなら理解できますが、朝夕飯と同じように給食も自分で食べる分は自分で払うべきだと思うので、完全無償化には反対です。税金の使い方が間違っていると思います。市にお金がないならば、お金を生み出す施策を進めたらいいのではないのでしょうか。</p>	<p>今回の事務事業見直しは、収支不足に陥り、財政調整基金の取崩しにより対応している厳しい財政状況の下、現状のまま事務事業を維持すれば、将来の市民に負担を先送りすることにもなりかねないことから実施しているものです。</p> <p>公約は、市民の皆様との約束であり、実現に努めることはもちろんですが、これから10年先、20年先をしっかりと見据え、人口減少社会に対応したまちづくりを実現するためには、持続可能な財政基盤の確立が急務であることから、事務事業見直しを進めているところです。</p> <p>事務事業の見直しにより、従来どおりに続けられない事業が生じるという面はありますが、市民生活への影響が大きい多くの事業は維持することとしております。この機会に、盛岡の魅力を高めるための手段の一部を見直しながら、持続可能なまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>今後も、市民の皆様、関係団体等の皆様から御意見を伺いながら、事務事業見直し、積極的な歳入確保を含めた自治体経営改善の取組を進めてまいりますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。</p>	市長公室 自治体経営改善事務局
共同親権に関するHPでの周知内容の充実について	<p>令和８年から改正民法が施行され、共同親権が導入されます。行政の周知啓発によって守られる命もあると思うので、法務省の情報を掲載するだけでなく、市民に分かりやすいように共同親権制度の趣旨を伝えてほしいです。</p>	<p>共同親権については、市のホームページや市民登録課の窓口等で周知・啓発をしており、また、離婚前後親支援事業として開催した講演会の中でも取り上げ、制度の有用性や課題を含めて周知・啓発を進めているところです。本市のホームページにおいては、法務省で作成したパンフレットが非常に分かりやすく丁寧にまとめられているため、そのまま掲載させていただいております。</p> <p>今後、法律の施行による制度の運用開始に伴い、具体的な課題や事例が発生していくと思われますので、必要に応じて、より分かりやすい情報を提供してまいります。</p>	子ども未来部 こども家庭センター
夜間急患診療所について	<p>保健所の夜間急患診療所を受診しましたが、診察や薬の処方の小児科優先と言われ疑問を抱きました。内科と小児科で医師は２人いるのに、なぜ小児科が優先なののでしょうか。また、薬についても薬剤師１人ではなく複数配置したらいいいのではないのでしょうか。</p>	<p>この度は、夜間急患診療所を御利用いただいた際に、不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ございません。</p> <p>当診療所は初期救急医療機関として、病態に応じて速やかに患者様を適切な医療機関へ御紹介できるよう体制を整えておりますが、院内感染防止の観点から発熱者は診察室を分けており、小児科患者を優先させる場合がございます。</p> <p>しかしながら、体調が優れない中での受診にもかかわらず、不快な思いをさせてしまったことは、申し訳ございませんでした。患者様のお気持ちに寄り添った丁寧な対応を徹底するよう、職員への指導を行いました。</p> <p>さらに、混雑が予想される長期休暇期間には薬剤師を増員し、対応力の強化に努めておりますが、今回の御意見を真摯に受け止め、今後より良い診療所運営に努めてまいります。</p>	保健所 企画総務課

# 市長への手紙

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
雨の日の岩手公園下の水溜まりについて	菜園通りに向かう岩手公園下の信号付近に大きな水溜まりができて、車が通る際に水しぶきが上がり、歩行者は迂回して歩いていますし、車も大きく迂回するので、対向車に接触するおそれがあると思います。 排水溝に泥や枯れ葉が詰まり、排水がうまくできていない様子だったので対策をお願いしたいです。	この度、御指摘いただきました岩手公園下の信号付近における雨水の滞留について、現地を確認し、排水柵上の落ち葉や土砂の撤去を実施いたしました。 今後も必要に応じて点検・清掃を行い、排水機能の維持に努めてまいります。	建設部 道路管理課
市役所前の掲示板について	盛岡市役所前の掲示板は、画鋏が落ちて掲示物が剥がれ落ちていたり、変色していたりしています。人々が行き交う場所なので、定期的に管理いただきたいです。	市役所前の掲示板の管理について御不快な思いをさせていただきましたことについて、おわびいたします。 この度の御指摘を受け、掲示板の管理につきましては、適切な対応に努めてまいります。	総務部 総務課
クマと子どもの安全について	クマから子どもの命を守るため、小学生の通学時に車での送り迎えができない家庭に対し、スクールバスやタクシーを使用できるようにしてほしいです。 また、早めに冬休みに入ってもいいと思います。	クマの出没は予測が難しい状況ですが、被害を防ぐためには、児童生徒がクマに遭遇しないことが最も重要な対策と考えております。 そのため、出没情報については、速やかに学校や保護者の皆様へお知らせし、迅速な判断と行動ができるよう努めております。引き続き、児童生徒の安全を第一に、地域や保護者の方々、関係機関と連携しながら対応を進めてまいります。 また、学区内でクマの出没情報が確認された場合には、これまで同様、状況に応じて、保護者による送迎、集団下校、自宅や学校での待機などの対応を継続してまいります。 なお、冬休みにつきましては、各学校において年間計画どおり実施する予定ですが、クマの出没状況によっては臨時休業等の措置を講じる場合がありますので、御理解と御協力をお願いいたします。	教育委員会 学校教育課

# 市長への手紙

－ 市民の意見箱 －

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
盛岡国際俳句大会の 存続について	盛岡国際俳句大会について、国際と銘打つ俳句大会は、あまり多くなく、海外からの参加者にとっては歓迎されているように感じられると思います。大規模な大会のため継続することは大変かと思いますが、投句料や参加費が上がっても構わないので、今後も継続してほしいです。	「盛岡国際俳句大会」は、令和元年の盛岡市政施行 130周年を記念して、海外でも人気がある俳句を通して盛岡の魅力を国内外に向けて発信することや、盛岡市民に改めて盛岡の魅力を再発見してもらうことなどを目的に、盛岡国際俳句大会実行委員会が開催しているものです。  日本語部門の「盛岡題」のほか、英語部門を設けているのが特色となっており、第7回大会では、合計で 1,291人から2,099句が、中でも英語部門においては44の国と地域から355人、697句が寄せられております。  アンケートによりますと、盛岡での開催を理由として投句する人が3割を占めているほか、市外・県外からの当日来場者が約5割となっており、盛岡の魅力を発信したり、魅力に気づいたりする機会になっている一方で、運営経費の8割以上を市からの負担金で賄っており、財源の確保や大会の運営方法が課題となっております。  現在、同実行委員会において、令和6年度から見直しの検討を進めており、今後、令和7年度から8年度の2年間で大会の目指すところを今一度整理しながら検討・協議の上、開催や参加形態を含めた大会の方向性について判断していくこととしております。  いただきました御意見については、同実行委員会の中で共有してまいりますので、今後とも御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。	交流推進部 文化国際課